

2021年2月20、21日 八ヶ岳 赤岳東稜  
メンバー；L谷内、倉澤、若奈、野中

若奈さんのリクエストに応じて5年ぶりに赤岳東稜に行ってきました。取り付きは大門沢をつめ稜上泊とし登攀終了後真教寺尾根下降の計画であったが、たっぷりの新雪ラッセルに苦しめられたこともあり二日目は竜頭峰ピストンと変更したおかげで雪稜の登攀だけでなく下降も堪能することができました。

## 2/20 快晴

AM6時茅野発 - 6:45 県界尾根登山口駐車～7時発 - 県界尾根分岐を過ぎた後の大門沢にはトレースなくわかん歩行開始となる - 9時: 初見の場合間違えて直進してしまいがちな下の二股着。左手進入口の目印となるワイヤはまだ健在であった - 10時: 東稜末端となる上の二股。右俣の滝場もほぼ埋まっており問題なく越えしばらく行ったところから東稜に取り付くがサラサラの新雪急登ラッセルはしんどし。ほぼ一定の傾斜で高度を上げておりなかなかテンバ適地が見当たらない。PM1:45 第一岩峰下100m ぐらいの2650m 地点で雪面を切り開いてエスパー4天ぎりぎりの設営を行う。その後明日の行動を消化すべく第一岩峰のルート工作に向け2:30 出発。正面左手ガリー状から取付き岩峰左側壁を直登。ホールド乏しく結構いやしかったがロープ1ピッチで岩峰上に抜け出、灌木を支点にフィックスを張ることができ一安心し4:20 テンバ帰着。今日一日しっかり行動したためいろんな水分が身体中にしみわたる夕餉を楽しむ。

二日目の行動形態に関し；初日のラッセルでかなり消耗したこと、泊まり装備を背負っての第一岩峰登攀はかなり厳しそうなこと、またその後のラッセルにも時間を要するであろうこと等を総合し真教寺尾根下降はやめて竜頭峰ピストンに変更とす。

## 2/21 快晴

AM5:40 発 - 明るみ始めた6:10 第一岩峰登攀開始 - 稜上にでると一部ナイフリッジも交えた気持ちの良い雪稜が続き我々だけでトレースをつけていく楽しみを味わう。第2岩峰は左手にルートを求め1ピッチトラバースし、その後ガリー状を1.5ピッチ直上。岩と草付きを交えた雪のルンゼでダブルアックスがしっかり効いてくれる。抜けた後ハイマツ帯を左手に横切り10時竜頭峰直下の真教寺尾根に合流。八つ西面は雪煙舞う強風の様相でありここを終了点とし、本日の入山者がいなさそうで静かな県界、真教寺、天狗尾根の眺めを堪能した後下降に移る。気温上昇に伴うアイゼンのだんごが顕著となってきたこともあり

安全を期しロープ懸垂を多用しながらで時間を要したが 13 時テンバ帰着。撤収後 13 : 35 下山開始。登りで 3 時間以上かかり苦しめられた樹林帯もあっというまで 14 : 05 上の二股。春の陽気で日差しの強い大門沢を耐え下り 15 : 30 駐車場帰着。